



福岡医発第 3267 号(総)
平成 27 年 3 月 6 日

各医師会長 殿

福岡県医師会
会長 松田 峻一良
(公印省略)

第 29 回日本医学会総会 2015 関西
事前参加登録締め切り延長について

早春の候 貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、平成 27 年 4 月 11 日(土)から 13 日(月)の 3 日間、国立京都国際会館を主会場に第 29 回日本医学会総会が開催されます。

本総会の事前参加登録受付開始につきましては、既にご案内していましたが、この度、第 29 回日本医学会総会井村裕夫会頭ならびに三嶋理晃準備委員長より事前参加登録を 3 月 24 日(火)まで延長する旨、日本医師会を通じてお知らせがまいりました。

つきましては、貴会会員への周知についてご高配賜りますとともに、引き続き、広報活動による参加登録の推進についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

学術担当理事 権藤秀之
会長 廣瀬真恵

第29回日本医学会総会2015関西 登録料

参加登録区分	事前登録 (3/24 まで)	当日登録
医師・歯科医師・研究者	30,000 円	35,000 円
医薬情報担当者(MR)・行政・企業	30,000 円	35,000 円
大学院生(医師・歯科医師) および卒後 5 年までの医師・歯科医師 ※「臨床研修医」の方は「卒後 5 年までの医師・歯科医師」の カテゴリーでご登録ください。	10,000 円	15,000 円
薬剤師・看護師・保健師・助産師・臨床検査技師・ 診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・ 管理栄養士・臨床工学技士・救急救命士・歯科衛生士・ 歯科技工士・衛生検査技師・視能訓練士・義肢装具士・ 言語聴覚士・病院事務・管理関係者	5,000 円	8,000 円
社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士	2,000 円	3,000 円
大学院生(医師・歯科医師を除く)		
学部学生	無料※	
同伴者(医療従事者以外の家族)	3,000 円	5,000 円

お問合せ先：第 29 回日本医学会総会 2015 関西 実務担当事務局
〒604-8162 京都市中京区烏丸通り六角下る七観音町 634 株式会社コンベンションリンクージ内
TEL：075-231-1265 FAX：075-231-6354 E-mail：secretariat@isoukai2015.jp

本件の担当：日本医学会事務局
長門(TEL03-3946-2121 内 2041)

特別プログラム

2015年
4月11日(土)午前

開会講演

京都大学 iPS細胞研究所 所長・教授
山中 伸弥



会頭講演

第29回日本医学会総会 2015 関西 会頭
井村 裕夫



日本医師会会長講演

日本医師会長
横倉 義武



2015年
4月11日(土)午後

日本医学会会長講演

日本医学会長
高久 史麿



2015年
4月13日(月)午後

記念講演

一般財団法人 聖路加国際メディカルセンター 理事長
日野原 重明



閉会講演

京セラ株式会社 名誉会長
稲盛 和夫



特別企画

医学と医療の革新を目指して、現在の社会が抱える課題を議論します。医療従事者だけではなく、行政/企業/市民も交え、開かれた場とします。

1. 地域包括ケアと医師の使命
2. 勤務医と地域医療連携
3. 皆でつくる健康社会
4. 健康社会を支える医と産業の新しい連携
～新医療時代の開花に向けて～

ホットトピックス

一般医のための先進医療セッション。「癌/認知症/生活習慣病」の最新情報をご紹介します。

1. 癌診療の最前線
2. 認知症時代克服への道
3. 生活習慣病の臨床の新展開



学術講演[20の柱]

医学

柱1 トランスレーション科学の振興

再生医学と再生医療、がん研究と創薬、自己免疫疾患と生物製剤など、我が国の基礎研究の強みを活かしていかにトランスレーションを進めていくべきかを規制当局、産学連携のあり方などの視点から議論する。

- 企画1 医療開発に不可欠な産学連携
- 企画2 ここまで来た!臨床応用を支えていく科学の進歩
- 企画3 チームワークが重要!臨床応用研究のサポート体制の整備
- 企画4 こんなに進んでいる!トランスレーショナル研究の事例

柱2 臨床研究の推進

我が国の臨床研究の遅れは深刻な問題であり、新薬や再生医療の治験も遅々としてすすまない現状である。大学での臨床研究に関する教育、生物統計家の育成や制度的問題、研究費や研究成果の評価の問題について議論する。

- 企画1 再生医療が世界を変える
- 企画2 新薬開発の先に見えてくるもの
- 企画3 がん免疫療法は輝かしい新治療法になり得るか
- 企画4 新薬開発競争を打ち勝つためにわが国に求められているもの

柱3 先制医療(個の視点からの予防医学)

遺伝素因やエピゲノム、バイオマーカーを用いた発症前診断、発症前介入により、未然に疾患の発症を防ぐ、あるいは遅らせるといった「個の視点」をもった予防医学をどのように推進していくかを議論する。

- 企画1 健康長寿100歳を目指して — 先制医療の取組み
- 企画2 未来の健康を創造する — 先制医療入門
- 企画3 先制医療とそれをささえる技術・解析手法

柱4 再生医療

iPS/ES細胞の基礎研究の発展を踏まえ、再生医療の時代が幕を開けようとしている。その最先端と将来像、また現状の問題点等について議論する。

- 企画1 iPS細胞が開いた新しい生命倫理の扉
- 企画2 多能性幹細胞研究の最前線
- 企画3 幹細胞なしの再生医療 — 培養液による臓器再生 —
- 企画4 幹細胞からの臓器形成研究の最前線と課題

柱5 リハビリテーションのこれから

近年進捗著しい科学的根拠に基づいたリハビリテーション医学の基礎及び臨床研究成果を踏まえ、今後のあり方、進め方について議論する。

- 企画1 リハビリテーションは進化する:『守る』から『攻める』へ
- 企画2 運動器リハビリテーションのこれから(進歩と展望)
- 企画3 新しい時代の心臓リハビリテーション:エビデンスと実際
- 企画4 有効な中枢性運動麻痺治療方法

柱6 環境変化と健康

人の生活により生じた汚染物質や騒音、あるいは地球温暖化、自然生態系の破壊やオゾン層破壊といった地球環境の変化が、人間の健康に与える影響について、喘息、アレルギー、発癌、感染症など幅広い分野の疾患で議論する。

- 企画1 地球規模での環境汚染の未然防止の取り組み:サンプルバンクの有用性と今後
- 企画2 私たちを取り巻く環境の変化と健康影響:地域規模から地球規模まで
- 企画3 放射線被曝の健康影響と福島の問題
- 企画4 健康格差社会の是正を目指して

柱7 サイエンスからみた心の問題・心の発達

「心」はどこまで科学で解明されたのか、心の発達の最新科学に加え、社会環境の変化によって生じた新型うつ病などの心の病、いじめや犯罪心理、自殺問題等について幅広く取り上げ議論する。

- 企画1 ひとのこころはどのように作られたか?
- 企画2 こころを画像化する
- 企画3 認知症の最新情報とその対策
- 企画4 自殺予防に向けて医療にできること

柱8 基礎医学からの提案

基礎医学における二光子レーザー顕微鏡の進展や癌診断における分子イメージングなど、現代医学の最先端の内容を取り上げ議論する。

- 企画1 形を見る、機能を知る:最先端の構造生物学とライフサイエンス
- 企画2 インフルエンザとの対決:次世代ワクチンの開発と応用
- 企画3 脳はここまでわかった
- 企画4 がんの克服への基礎医学の挑戦

第29回日本医学会総会 2015 関西では、メインテーマである「医学と医療の革新を目指して—健康社会を共に生きるきずなの構築—」に沿って、今日の社会が直面する20の課題について分野横断的な議論が行われます。

医療

第9 日本の医療・介護制度を考える

少子高齢化を迎えた我が国において、どのように持続可能な医療、介護体制を築いていくべきかを 国民皆保険制度の崩壊、混合診療や医療費、介護費の増大に対する対策等の観点から、厚生労働省、医師会、当事者等を交えて広く議論する。

企画1 2025年の医療提供体制へ向けた長期計画

企画2 認知症の介護を考える

企画3 2014年診療報酬改定と
2015年介護保険改訂を受けて

第10 医療技術の評価と医療資源の配分 (ヘルステクノロジアセスメント)

高度先進医療(再生医療、遺伝子治療、がん治療、医療機器開発)の費用対効果に加え、胃瘻などの既存の医療技術についてもアウトカム、QOLに対する効果、費用対効果などを検討する。その上で限られた医療資源の適正な配分について議論する。EBMから一歩進んだCER(comparative effectiveness research)(有効性の比較効用研究)という概念の普及を目指す。

企画1 限りある財政資源の中でどのように費用対効果を考え、質の高い医療を存続していくか?

企画2 「エビデンスに基づく医療」で最も高い根拠となる
系統的レビュー、その最前線

企画3 未来に向けた医療の評価—若手研究者たちの挑戦

第11 医療とIT(情報技術)

電子カルテ、モバイルデバイスの導入による医療提供体制の変化(遠隔地医療、地域医療連携等)や electronic health record (EHR)の構築、ロボット医療等、医療のIT化がもたらす未来について議論する。

企画1 医療とIT—近未来の医療はこう変わる—

企画2 ロボットがもたらす手術療法のパラダイムシフト

企画3 IT外科の最前線:低侵襲手術を支援する3D画像と
臓器立体モデル

企画4 いつでも、どこでもつながる医療
—ITがもたらす新医療インフラ—

第12 周産期・小児医療の課題

医師・看護師等の医療従事者の不足、医療資源の不足、出産年齢の高齢化等に伴うハイリスク分娩への対応など、厳しい状況におかれている周産期、小児期医療の現状と今後の対策について議論する。

企画1 予防ワクチンの新時代を迎えて

企画2 安心して妊娠・出産・子育てができる環境を

企画3 新たな出生前および出生後の診断について

第13 在宅医療を含んだ慢性期医療

慢性期患者の医療に関する問題点や取り組み等について、例えば急性期病院と地域医療機関との地域連携や在宅復帰とそれに必要な支援の方法、在宅治療にともなう諸問題、療養病床での医療のあり方などについて議論する。

企画1 基礎疾患の異なる個々の患者に最適な具体的支援策とは

企画2 医療者中心の「医療連携」から患者中心の「生活連携」へ

企画3 自分らしく生活できる新しい日本の在宅医療をめざして

第14 グローバルヘルス

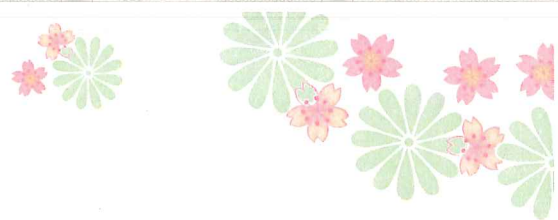
保健医療問題が国境を越えて拡がるようになってきており、感染症、糖尿病などの疾病の国際化、さらに母子保健、栄養不足問題、難民の保健問題など、発展途上国、工業国にかかわらず保健医療の地球規模の問題が発生し、健康格差が生じている。これらとともに、TPPに参加した場合の日本の医療の国際化から生じるメディカルツーリズムなどの諸問題についても議論する。

企画1 国際化社会における在外邦人と在日外国人の医療と
健康危機管理

企画2 グローバル化する生活習慣病の脅威

企画3 TPPへの参加で日本の医療は変わるか?

企画4 グローバル化による感染症の変化にどう対応するか?



学術講演[20の柱]

きずな

#15 効率的な医療人養成制度

いかにして総合医、専門医、また、リーダーとなる人材を効率的に育成するか、さらにはいかにphysician scientistや基礎医学者、社会医学者などを育成するかといった問題について、卒前教育のあり方や、医師国家試験のあり方などを交えて議論する。

- 企画1 国際基準による認証評価に対応した医学教育改革
- 企画2 女性も男性も質の高い働き方ができる時代をめざして
- 企画3 基礎医学者、Physician Scientist育成、MD, PhDコースについて
- 企画4 専門医制度と時代にマッチした生涯教育制度
- 企画5 多職種連携教育(IPE)の理論と実践について

#16 死生学(終末医療、臓器移植、緩和医療)

多くの人が長寿を享受できる現状だからこそ、生きるとはどういうことかを考える。終末期医療の問題、生殖医学や移植医学と生命倫理の問題、また「死をどうとらえるか」という問題について議論する。

- 企画1 がんと診断された時からの緩和ケアってなんだろうーその実践のために必要とされることー
- 企画2 超高齢社会における終末期医療を考える
- 企画3 わが国の脳死臓器移植のありみと今後の展望

#17 学生企画

医学部/薬学部/看護部の学生が共同し、「学部横断」そして「学校横断」で、学生の視点からみた医学教育の問題点、医療全体の将来、希望などについて議論する。

- 企画1 医学教育のもう一つの主役：地域医療機関との連携
- 企画2 医療チーム 学生フォーラムⅠ
～医療技術の評価/医療人養成制度～
- 企画3 医療チーム 学生フォーラムⅡ
～医療とIT/医療制度～
- 企画4 医療チーム 学生フォーラムⅢ
～死生学/在宅医療～
- 企画5 医療チーム 学生フォーラム まとめ

#18 震災に学ぶ

東日本大震災から4年たち、日本の医療体制はどう変わったのかを検証する。厚生労働省、地方自治体、そして被災地からの報告をもとに、現状の問題点・今後の展望を議論する。

- 企画1 阪神淡路大震災と東日本大震災の経験から見る南海トラフ地震への備え
- 企画2 2011年東日本大震災の検証
- 企画3 震災後の東北地方の医療再建

#19 チーム医療の新しい展開

医療とは他職種の連携、パートナーシップのもとに成り立つものであり、医学研究にも工学、薬学をはじめとする近接した他の領域の専門家との連携が不可欠である。あるべき連携の姿、また現状について議論する。

- 企画1 これまでのチーム医療、これからのチーム医療
- 企画2 チームで取組む新しい医療：多職種による連携
- 企画3 医・薬・工学の連携が生み出す未来のサイエンス

#20 移行医療(transitional medicine)

小児期発症疾患(小児てんかん、筋ジストロフィー、先天性心疾患、アトピー、発達障害など)などについて生涯を通じてどのようにフォローアップしていくべきかを議論する。さらに発展して、「electronic health record」をいかに構築するか、また、これらの医療情報を医学・医療研究に活用するための環境をいかに整えるかについても議論する。

- 企画1 移行医療：周産期・小児から成人へ
- 企画2 自閉症スペクトラム障害のライフステージと医療支援
- 企画3 てんかんのよりよい移行医療をめざして
- 企画4 筋ジストロフィーの長期の医療と教育
- 企画5 さまざまな移行医療



日本医学会分科会および協力機関 研修単位

最新情報はWEBでご確認ください。

単位の取得方法の詳細につきましては、各分科会にご確認ください。

学会名	名称 [認定単位数(点・単位)]
日本病理学会	病理専門医資格更新の生涯学習単位 [10単位]
日本血液学会	血液専門医[3単位]
日本法医学会	法医検案医、法医認定医、法医指導医 [参加:3単位、発表:筆頭者:3単位、 共同発表者:1単位]
日本温泉気候物理医学会	温泉療法専門医、温泉療法医[2単位]
日本内分泌学会	内分泌代謝科専門医 認定更新研修単位[7単位]
日本内科学会	総合内科専門医[10単位]
日本小児科学会	小児科専門医研修単位[5単位]
日本感染症学会	①日本感染症学会専門医 [出席:3単位/筆頭演者:3単位] ②ICD制度協議会更新単位 [対象セッション各5単位]
日本消化器病学会	消化器病専門医更新申請 [出席:8単位/筆頭演者:2単位]
日本循環器学会	循環器専門医研修単位[5単位(その他)]
日本外科学会	①外科専門医の更新[5単位] ②認定登録医の登録/更新[5単位] ③指導医の更新[1回分]
日本整形外科学会	整形外科専門医資格継続単位[5単位]
日本産科婦人科学会	研修出席証明シール(専門医シール) [10単位]
日本眼科学会	眼科専門医資格更新のための生涯教育 基準[1日3単位]
日本耳鼻咽喉科学会	日本耳鼻咽喉科学会認定専門医制度に より認可された 学術集会参加単位[5単位]
日本皮膚科学会	社団法人日本皮膚科学会 皮膚科専門医後実績単位[6単位]
日本泌尿器科学会	専門医教育研修単位[20点]
日本医学放射線学会	放射線科専門医資格更新単位[5単位] ※規定見直し中のため暫定的。 決定時期不明。

学会名	名称 [認定単位数(点・単位)]
日本保険医学会	日本保険医学会研修単位 [※認定医10単位]
日本気管食道科学会	日本気管食道科学会認定気管食道科 専門医 研修単位(新規/更新) [B項目5単位(単位表区分:B 気管食道 領域に関連する学会)]
日本アレルギー学会	日本アレルギー学会専門医制度 規定業績単位 [出席:10単位/発表(筆頭)・座長・ 講師:5単位]
日本化学療法学会	①抗菌化学療法認定医・指導医認定制度 ②抗菌化学療法認定歯科医師・指導医 認定制度 ③抗菌化学療法認定薬剤師認定制度 ④抗菌薬臨床試験指導医・指導者制度 [①②③:2単位 / ④:参加2単位、 演者5単位]
日本麻酔科学会	麻酔科専門医・指導医研修単位 (新規/更新) [出席:15単位/発表:15単位]
日本脳神経外科学会	日本脳神経外科学会 生涯教育クレジット[10点]
日本輸血・ 細胞治療学会	日本輸血・細胞治療学会認定医制度 [3単位]
日本医真菌学会	日本医真菌学会認定医真菌専門医 [6単位]
日本糖尿病学会	専門医更新単位[8単位]
日本神経学会	日本神経学会神経内科専門医 認定更新単位[4単位]
日本老年医学会	老年病専門医[10単位]
日本人類遺伝学会	臨床遺伝専門医更新単位[8単位]
日本リハビリテーション 医学会	日本リハビリテーション医学会専門医・ 認定臨床医研修単位(更新)[10単位]
日本呼吸器学会	呼吸器専門医資格更新に必要な研修 単位[5単位(出席)/演者は さらに3単位加算(演題数は問わず)]
日本腎臓学会	腎臓専門医[5単位]
日本リウマチ学会	リウマチ専門医研修単位[5単位]

日本医学会分科会および協力機関 研修単位

最新情報はWEBで
チェック!

学会名	名称 [認定単位数(点・単位)]
日本肝臓学会	一般社団法人 日本肝臓学会認定肝臓専門医[5単位]
日本形成外科学会	専門医 資格更新単位[6点]
日本小児外科学会	専門医制度資格更新に必要な履修歴(学術集会への参加)[5単位]
日本脈管学会	日本脈管学会認定脈管専門医研修単位[出席:5単位/演者・座長:3単位加算]
日本周産期・新生児医学会	周産期専門医研修/周産期専門医更新[出席・発表:各々2単位]
日本臨床検査医学会	日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定更新単位[出席:5単位]
日本核医学会	日本核医学会核医学専門医、日本核医学会PET核医学認定医[5点]
日本生殖医学会	生殖医療専門医更新ポイント[旧制度10点/新制度10ポイント]
日本救急医学会	専門医更新に必要な業績目録[10点]
日本心身医学会	日本心身医学会認定専門医研修単位[出席:10単位/発表:5単位]
日本消化器内視鏡学会	日本消化器内視鏡学会専門医・指導医研修単位(新規/更新)[3点]
日本大腸肛門病学会	①大腸肛門病専門医更新 ②日本大腸肛門病指導医更新 [①、②共に5単位]
日本超音波医学会	超音波専門医資格更新研修・業績単位[5単位]
日本動脈硬化学会	日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医[5単位]
日本東洋医学会	専門医・認定医 更新点数 [15点]
日本小児神経学会	小児神経専門医[5単位]
日本呼吸器外科学会	呼吸器外科専門医[医療安全に関する研修1回]

学会名	名称 [認定単位数(点・単位)]
日本集中治療医学会	集中治療専門医(新規・更新) 新規[筆頭演者 2題(新)/3題(旧)] ※集中治療に関する発表であること。 ※新規は暫定期間の2015年まで旧細則も対象となる。 ※内1題は当学会主催の学会等での発表であること。 更新[出席:5単位/筆頭演者:5単位]
日本臨床薬理学会	専門医制度[10単位]
日本脳卒中学会	脳卒中専門医の更新単位[10単位]
日本高血圧学会	高血圧専門医更新単位[5単位]
日本臨床細胞学会	細胞診専門医関連学術集会単位[5単位]
日本透析医学会	日本透析医学会専門医制度研修単位[10単位]
日本乳癌学会	①日本乳癌学会認定医制度(新規・更新) ②日本乳癌学会専門医制度(新規・更新) [3点(①②ともに更新)] ※②の(新規・更新):筆頭演者 3点/共同 1点]
日本肥満学会	肥満症専門医、生活習慣病改善指導師[申請後に決定※発表者のみ]
日本レーザー医学会	専門制度個人資格[12単位]
日本呼吸器内視鏡学会	専門医・指導医の申請および更新の業績単位 [出席:5点/筆頭演者:3点/共同演者:1点]
日本プライマリ・ケア連合学会	専門医・認定医・更新のための単位 [10単位(新制度で計算する場合)/3単位(旧制度で計算する場合)]
日本手外科学会	手外科専門医[60分 1単位]
日本睡眠学会	睡眠医療認定[2単位]
日本総合健診医学会	①人間ドック健診専門医:旧制度・新規申請[2単位]/新旧制度・更新申請[10単位(点)] ②総合健診指導士:新規申請[2単位]、更新申請[10点] ③総合健診業務管理士:新規申請[2単位]、更新申請[10点]